

## 平成 30 年度 大阪府宿泊実態に関する調査について

- 調査対象施設 2, 439施設  
ホテル旅館：1, 238施設、簡易宿所：588施設、  
民泊：613施設（うち新法民泊：1施設）  
※2018年1月以降に開業した273施設を含む
- 調査期間 平成30年6月1日～6月22日
- 回答数 128件（6/12現在）
- スケジュール 6月下旬：中間まとめ（第2回調査検討会議へ報告）  
7月中旬：最終報告（第3回調査検討会議へ報告）
- 受託事業者 株式会社フューチャー・コミュニケーションズ
- 調査項目
1. 施設の概要  
(1) 施設名 (2) 解説年月日 (3) 施設種別 (4) 室数  
(5) 総宿泊可能人数 (6) 従業員数 (7) 施設の所在地
  2. 利用者の状況  
(1) 2014、2016、2017年の延べ宿泊者数、うち外国人数  
(2) 上記(1)の宿泊目的別割合（観光目的・観光目的以外）
  3. 宿泊単価※の状況（実績）  
(1) 2014、2016、2017年の1人当たり平均宿泊単価  
(2) 1人当たり最高宿泊単価及び最低宿泊単価（平日、休前日）  
※宿泊単価とは素泊まりの料金（サービス料含む）のことをいう  
食事、会議室利用、電話代等の宿泊以外のサービスに相当する料金及び消費税は除く
  4. 1人当たり宿泊単価別延べ宿泊者数（実績）  
区分（1千円未満、1千円～2千円、2千円～3千円、3千円～4千円、  
4千円～5千円、5千円～6千円、6千円～7千円、7千円～8千円、  
8千円～9千円、9千円～1万円、1万円～1.5万円、1.5万円～2万円、  
2万円～3万円、3万円以上）
  5. その他（自由記述）  
(1) 観光客対応で困っている店  
(2) 希望する支援方策